



2019年11月12日

各位

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ
代表者名 代表取締役社長 長 井 啓
(コード番号 : 6324)

問合せ先 取締役 丸山 顕
執行役員 上條 和俊
TEL. 03-5471-7810

2020年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月10日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想値と実績値の差異
(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 21,000	百万円 450	百万円 450	百万円 0	円 銭 0 00
実績値(B)	21,577	1,383	1,613	280	2 91
増減額 (B-A)	577	933	1,163	280	
増減率(%)	2.7	207.5	258.5	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	34,474	8,914	9,337	5,908	61.37

2. 2020年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想値と実績値の差異
(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 10,500	百万円 ▲240	百万円 ▲160	円 銭 ▲1 66
実績値(B)	10,527	679	253	2 64
増減額 (B-A)	27	919	413	
増減率(%)	0.3	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	25,229	7,510	5,196	53.98

3. 2020年3月期(通期) 連結業績予想の修正
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 42,000	百万円 1,000	百万円 1,000	百万円 50	円 銭 0 52
今回修正(B)	36,700	▲1,500	▲1,300	▲1,500	▲15 58
増減額 (B-A)	▲5,300	▲2,500	▲2,300	▲1,550	
増減率(%)	▲12.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	67,809	16,903	17,464	11,601	120.52

4. 2020年3月期(通期) 個別業績予想の修正
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 22,000	百万円 150	百万円 100	円 銭 1 04
今回修正(B)	18,000	▲700	▲500	▲5 19
増減額 (B-A)	▲4,000	▲850	▲600	
増減率(%)	▲18.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	49,249	14,213	10,413	108.18

5. 差異及び業績予想の修正理由

- 当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高が前回予想を上回ったことによる増益効果に加え、固定費の削減活動などが奏功した影響により、営業利益が予想値を上回りました。また、個別業績につきましても、連結と同様、固定費の削減などにより、営業利益が予想値を上回りました。
- 通期の業績予想につきましては、日本を含むアジア市場で足下の受注状況に底打ちの兆しが見られるものの、下期の受注回復のペースは前回予想時の前提を下回る見通しであることから、売上高を下方修正いたします。
これは、米中貿易摩擦などの影響により、自動化・省力化投資の低迷が長期化していることや、当社グループのお客様や代理店各社における当社製品の在庫調整に今しばらくの時間を要する見通しであることが主な要因であり、当社製品の市場におけるシェアや販売単価に大きな変化は認められません。従って、上記要因が解消されるに連れ、漸次売上高は回復していくものと見込んでおります。
また、損益面につきましては、引き続き固定費の削減などに努めてまいります。売上高を下方修正することに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益も下方修正するものです。

以上